

別表1 紡績運転職種 技能実習評価試験の試験科目及びその範囲並びにその細目(試験基準)

初 級 基本的な業務を遂行するために必要な初歩的な技能及び知識	専 門 級 技能者が通常有すべき一般的な技能及び知識	上 級 中級の技能者が通常有すべき技能及び知識
<p>学科試験</p> <p>1 繊維の種類、特徴及び用途 次に掲げるテキスタイル原料の種類及び特徴について初歩的な知識を有すること。 1.天然繊維 2.化学繊維</p> <p>2 糸の種類、性質及び用途 次に掲げる糸の種類(分類)、番手及び撚(より)について初歩的な知識を有すること。 1.紡績糸 2.フィラメント糸</p> <p>3 紡績法の原理 次に掲げる紡績法について初歩的な知識を有すること。 1.紡績法の基本原理 2.綿糸紡績法 3.革新紡績法</p> <p>4 織物の種類、特徴及び用途 次に掲げる織物について初歩的な知識を有すること。 1.天然繊維織物 2.化学繊維織物 3.混交繊維織物</p> <p>5 製織法の原理 次に掲げる製織法について初歩的な知識を有すること。 1.製織法の基本原理 2.綿織物製織法</p> <p>6 統計的な考え方及び工程管理 統計的な考え方及び工程管理について初歩的な知識を有すること。</p> <p>7 安全衛生に関する知識 紡績機械運転作業に伴う安全衛生に関し、次に掲げる事項について詳細な知識を有すること。 1.災害の原因と防止 2.作業環境の管理 3.衛生についての注意事項</p> <p>前各号に掲げる科目のほか、次に掲げる科目のうち、受験者が選択するいずれか一つの科目</p> <p>1 前紡工程 ①前紡機の種類、構造、機能及び使用方法 1)次に掲げる前紡機の種類、構造、機能及び使用方法について初歩的な知識を有すること。 1.梳綿機 2.精梳綿機 3.練糸機 4.粗紡機 5.その他前紡機 2)次に掲げる前紡機の付属装置の種類及び使用方法について初歩的な知識を有すること。 1.コイラー 2.オートレベラー 3.その他付属装置 3)次に掲げる前紡機の機能について初歩的な知識を有すること。 1.カーディング 2.ダブルリング 3.コーミング 4.ドラフティング 5.加ねん ②前紡工程の作業方法 次に掲げる前紡工程の作業方法について初歩的な知識を有すること。 1.繊維束継ぎ 2.パッケージ交換 ③加工物に生じる欠陥の種類、原因及び防止方法 次に掲げる事項の試験・検査について初歩的な知識を有すること。 1.繊維束の品質特性 2.パッケージの品質特性 ④前紡機の運転管理 次に掲げる前紡工程の運転管理について初歩的な知識を有すること。 1.運転管理の心得 2.標準動作手順 3.紡出状況のチェックポイント</p> <p>2 精紡工程 ①精紡機の種類、構造、機能及び使用方法 1)次に掲げる精紡機の種類、構造、機能及び使用方法について初歩的な知識を有すること。 1.リング精紡機 2.革新精紡機 3.その他精紡機 2)次に掲げる精紡機の付属装置の種類及び使用方法について初歩的な知識を有すること。 1.オートドッファー 2.その他付属装置 3)次に掲げる精紡機の機能について初歩的な知識を有すること。 1.ドラフティング 2.加ねん 3.成形</p>	<p>学科試験</p> <p>一般知識 1 テキスタイル原料 1.天然繊維 2.化学繊維</p> <p>2 糸 糸の分類、番手及び撚(より)について、一般的な知識を有すること。</p> <p>3 紡績法 紡績法の基本原理、綿糸紡績法及び革新紡績法について、一般的な知識を有すること。</p> <p>4 織物 織物の分類について、一般的な知識を有すること。</p> <p>5 製織法 製織法の基本原理、及び綿織物製織法について、一般的な知識を有すること。</p> <p>6 統計的な考え方及び工程管理 統計的な考え方と工程管理について、一般的な知識を有すること。</p> <p>7 安全・衛生 次に掲げる紡績機械運転作業に伴う安全・衛生について、詳細な知識を有すること。 1.災害の原因と防止 2.作業環境の管理 3.衛生についての注意事項</p> <p>専門知識 次に掲げる科目(工程)のうち受験者が選択するいずれか一つの科目(工程)</p> <p>1 前紡工程 ①概要 次に掲げる前紡工程の概要について、一般的な知識を有すること。 1.目的 2.主な作用 3.前紡機の種類 ②構造と作用 次に掲げる前紡機の構造及び作用について、一般的な知識を有すること。 1.本体 2.付属装置 ③試験・検査 次に掲げる事項の試験・検査について、一般的な知識を有すること。 1.繊維束の品質特性</p> <p>④運転管理 次に掲げる前紡機の運転管理について、一般的な知識を有すること。 1.運転管理の心得 2.標準動作手順 3.紡出状況のチェックポイント</p> <p>2 精紡工程 ①概要 次に掲げる精紡工程の概要について、一般的な知識を有すること。 1.目的 2.主な作用 3.精紡機の種類 ②構造及び作用 次に掲げる精紡機の構造及び作用について、一般的な知識を有すること。 1.本体 2.付属装置 ③試験・検査 次に掲げる事項の試験・検査について、一般的な知識を有すること。 1.糸の品質特性</p>	<p>学科試験</p> <p>一般知識 1 テキスタイル原料 次に掲げるテキスタイル原料の種類及び特徴について、詳細な知識を有すること。 1.天然繊維 2.化学繊維</p> <p>2 糸 糸の分類、番手、撚(より)及び品質特性について、詳細な知識を有すること。</p> <p>3 紡績法 紡績法の基本原理、綿糸紡績法および革新紡績法について、詳細な知識を有すること。</p> <p>4 織物 織物の分類及び基本組織について、詳細な知識を有すること。</p> <p>5 製織法 製織法の基本原理、及び綿織物製織法について、詳細な知識を有すること。</p> <p>6 統計的な考え方及び工程管理 統計的な考え方及び工程管理について、詳細な知識を有すること。</p> <p>7 安全・衛生 次に掲げる紡績機械運転作業に伴う安全・衛生について、詳細な知識を有すること。 1.災害の原因と防止 2.作業環境の管理 3.衛生についての注意事項</p> <p>専門知識 次に掲げる科目(工程)のうち受験者が選択するいずれか一つの科目(工程)</p> <p>1 前紡工程 ①概要 次に掲げる前紡工程の概要について、詳細な知識を有すること。 1.目的 2.主な作用 3.前紡機の種類 ②構造及び作用 次に掲げる前紡機の構造及び作用について、詳細な知識を有すること。 1.本体 2.付属装置 ③試験・検査 次に掲げる事項の試験・検査について、詳細な知識を有すること。 1.繊維束の品質特性</p> <p>④運転管理 次に掲げる前紡工程の運転管理について、詳細な知識を有すること。 1.運転管理の心得 2.標準動作手順 3.紡出状況のチェックポイント</p> <p>2 精紡工程 ①概要 次に掲げる精紡工程の概要について、詳細な知識を有すること。 1.目的 2.主な作用 3.精紡機の種類 ②構造及び作用 次に掲げる精紡機の構造及び作用について、詳細な知識を有すること。 1.本体 2.付属装置 ③試験・検査 次に掲げる事項の試験・検査について、詳細な知識を有すること。 1.糸の品質特性</p>

<p>②精紡工程の作業方法 次に掲げる精紡工程の作業方法について初歩的な知識を有すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.粗糸継ぎ 2.糸継ぎ 3.パッケージ交換 <p>③加工物に生じる欠陥の種類、原因及び防止方法 次に掲げる事項の試験・検査について初歩的な知識を有すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.繊維束の品質特性 2.糸の品質特性 3.パッケージの品質特性 <p>④精紡機の運転管理 次に掲げる精紡工程の運転管理について初歩的な知識を有すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.運転管理の心得 2.標準動作手順 3.紡出状況のチェックポイント <p>3 巻糸工程</p> <p>①巻糸機の種類、構造、機能及び使用方法 1)巻糸機の種類、構造、機能及び使用方法について初歩的な知識を有すること。</p> <p>2)次に掲げる巻糸機の付属装置の種類及び使用方法について初歩的な知識を有すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.オートドッファー 2.自動管糸供給装置 3.その他付属装置 <p>3)次に掲げる巻糸機の機能について初歩的な知識を有すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.ワインディング 2.ノッティング 3.クリーニング <p>②巻糸工程の作業方法 次に掲げる巻糸工程の作業方法について初歩的な知識を有すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.パッケージ供給 2.糸継ぎ 3.パッケージ交換 <p>③加工物に生じる欠陥の種類、原因及び防止方法 次に掲げる事項の試験・検査について初歩的な知識を有すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.糸の品質特性 2.パッケージの品質特性 <p>④巻糸機の運転管理 次に掲げる巻糸工程の運転管理について初歩的な知識を有すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.運転管理の心得 2.標準動作手順 3.紡出状況のチェックポイント <p>4 合ねん糸工程</p> <p>①合ねん糸機の種類、構造、機能及び使用方法 1)次に掲げる合ねん糸機の種類、構造、機能及び使用方法について初歩的な知識を有すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.実より式合ねん糸機 2.仮より式合ねん糸機 <p>2)次に掲げる合ねん糸機の機能について初歩的な知識を有すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.合糸 2.ねん糸 <p>②合ねん糸工程の作業方法 次に掲げる合ねん糸工程の作業方法について初歩的な知識を有すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.パッケージ供給 2.糸継ぎ 3.パッケージ交換 <p>③加工物に生じる欠陥の種類、原因及び防止方法 次に掲げる事項の試験・検査について初歩的な知識を有すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.糸の品質特性 2.パッケージの品質特性 <p>④合ねん糸機の運転管理 次に掲げる合ねん糸工程の運転管理について初歩的な知識を有すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.運転管理の心得 2.標準動作手順 3.紡出状況のチェックポイント 	<p>④運転管理 次に掲げる精紡工程の運転管理について、一般的な知識を有すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.運転管理の心得 2.標準動作手順 3.紡出状況のチェックポイント <p>3 巻糸工程</p> <p>①概要 次に掲げる巻糸工程の概要について、一般的な知識を有すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.目的 2.主な作用 3.巻糸機の種類 <p>②構造及び作用 次に掲げる巻糸機の構造及び作用について、一般的な知識を有すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.本体 2.付属装置 <p>③試験・検査 次に掲げる事項の試験・検査について、一般的な知識を有すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.糸の品質特性 2.チーズ・コーンの形状調査 <p>④運転管理 次に掲げる巻糸工程の運転管理について、一般的な知識を有すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.運転管理の心得 2.標準動作手順 3.紡出状況のチェックポイント <p>4 合ねん糸工程</p> <p>①概要 次に掲げる合ねん糸工程の概要について、一般的な知識を有すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.目的 2.主な作用 3.合ねん糸機の種類 <p>②構造及び作用 次に掲げる合ねん糸機の構造及び作用について、一般的な知識を有すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.本体 2.付属装置 <p>③試験・検査 次に掲げる事項の試験・検査について、一般的な知識を有すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.糸の品質特性 2.パッケージの形状調査 <p>④運転管理 次に掲げる合ねん糸工程の運転管理について、一般的な知識を有すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.運転管理の心得 2.標準動作手順 3.紡出状況のチェックポイント 	<p>④運転管理 次に掲げる精紡工程の運転管理について、詳細な知識を有すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.運転管理の心得 2.標準動作手順 3.紡出状況のチェックポイント <p>3 巻糸工程</p> <p>①概要 次に掲げる巻糸工程の概要について、詳細な知識を有すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.目的 2.主な作用 3.巻糸機の種類 <p>②構造及び作用 次に掲げる巻糸機の構造及び作用について、詳細な知識を有すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.本体 2.付属装置 <p>③試験・検査 次に掲げる事項の試験・検査について、詳細な知識を有すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.糸の品質特性 2.チーズ・コーンの形状調査 <p>④運転管理 次に掲げる巻糸工程の運転管理について、詳細な知識を有すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.運転管理の心得 2.標準動作手順 3.紡出状況のチェックポイント <p>4 合ねん糸工程</p> <p>①概要 次に掲げる合ねん糸工程の概要について、詳細な知識を有すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.目的 2.主な作用 3.合ねん糸機の種類 <p>②構造及び作用 次に掲げる合ねん糸機の構造及び作用について、詳細な知識を有すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.本体 2.付属装置 <p>③試験・検査 次に掲げる事項の試験・検査について、詳細な知識を有すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.糸の品質特性 2.パッケージの形状調査 <p>④運転管理 次に掲げる合ねん糸工程の運転管理について、詳細な知識を有すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.運転管理の心得 2.標準動作手順 3.紡出状況のチェックポイント
---	--	---

<p>実技試験</p> <p>次の各号に掲げる科目のうち受験者が選択するいずれか一つの科目(工程)</p> <p>1 前紡工程作業</p> <p>①継ぎ・交換作業 次に掲げる前紡機の繊維束の継ぎ・交換作業ができること。 1.繊維束の継ぎ・交換ができること。</p> <p>②パッケージ交換作業 次に掲げる前紡機のパッケージ交換作業ができること。 1.パッケージ交換ができること。</p> <p>③供給作業 次に掲げる前紡機への繊維束の供給作業ができること。 1.繊維束の供給ができること。</p> <p>④始動・停止作業 次に掲げる前紡機の始動・停止作業ができること。 1.前紡機の始動・停止ができること。</p> <p>⑤異常時の処理判断 次に掲げる前紡機の異常時の処理判断ができること。 1.危険箇所の把握ができること。</p> <p>2 精紡工程作業</p> <p>①始動・停止作業 次に掲げる精紡機の始動・停止作業ができること。 1.精紡機の始動ができること。 2.異音・異臭・表示灯のチェック作業ができること。 3.精紡機の停止ができること。</p> <p>②糸継ぎ作業 次に掲げる精紡機の糸継ぎ作業ができること。 1.ポビンの準備ができること。 2.糸継ぎができること。</p> <p>③粗糸継ぎ作業 次に掲げる精紡機の粗糸継ぎ作業ができること。 1.篠巻の準備ができること。 2.粗糸継ぎができること。</p> <p>④異常時の処理判断 次に掲げる精紡機の異常時の処理判断ができること。 1.危険箇所の把握ができること。</p> <p>3 巻糸工程作業</p> <p>①始動・停止作業 次に掲げる巻糸機の始動・停止作業ができること。 1.巻糸機の始動ができること。 2.巻糸機の異音・異臭・表示灯のチェック作業ができること。 3.巻糸機の停止ができること。</p> <p>②給糸作業 次に掲げる巻糸機の給糸作業ができること。 1.管糸・ポビンの準備ができること。 2.管糸の給糸ができること。</p> <p>③機台の見回り作業 次に掲げる巻糸機の機台の見回り作業ができること。</p>	<p>実技試験</p> <p>次に掲げる科目(工程)のうち受験者が選択するいずれか一つの科目(工程)</p> <p>1 前紡工程</p> <p>①継ぎ・交換作業 次に掲げる前紡機の繊維束の継ぎ・交換作業ができること。 1.繊維束の継ぎ・交換作業ができること。</p> <p>②パッケージ交換作業 次に掲げる前紡機のパッケージ交換作業ができること。 1.パッケージ交換作業ができること。</p> <p>③供給作業 次に掲げる前紡機への繊維束の供給作業ができること。 1.繊維束の供給作業ができること。</p> <p>④始動・停止作業 次に掲げる前紡機の始動・停止作業ができること。 1.機台の始動作業ができること。 2.接触・異音・表示灯のチェック作業ができること。 3.機台の停止作業ができること。</p> <p>⑤異常時の処理判断 次に掲げる前紡機の異常時の処理判断ができること。 1.トラブル処理ができること。(指導法は含まない) 2.危険予知ができること。</p> <p>2 精紡工程</p> <p>①始動・停止作業 次に掲げる精紡機の始動・停止作業ができること。 1.機台の始動作業ができること。 2.異音・異臭・表示灯のチェック作業ができること。 3.機台の停止作業ができること。</p> <p>②段取・仕掛作業 次に掲げる精紡機の段取・仕掛作業ができること。 1.篠巻の配置作業ができること。 2.篠巻の仕掛作業ができること。</p> <p>③口付・巻付作業 次に掲げる精紡機の間付・巻付作業ができること。 1.篠巻とポビンの準備作業ができること。 2.口付・巻付作業ができること。</p> <p>④継ぎ・給糸作業 次に掲げる精紡機の継ぎ・給糸作業ができること。 1.粗糸継ぎ・給糸作業ができること。 2.糸継ぎ・給糸作業ができること。</p> <p>⑤機台の見回り作業 次に掲げる精紡機の機台の見回り作業ができること。 1.運転状況の確認作業(指定箇所)ができること。 2.異常時の処理作業ができること。</p> <p>⑥異常時の処理判断 次に掲げる精紡機の異常時の処理判断ができること。 1.トラブル処理ができること。(指導法は含まない) 2.危険予知ができること。</p> <p>3 巻糸工程</p> <p>①始動・停止作業 次に掲げる巻糸機の始動・停止作業ができること。 1.機台の始動作業ができること。 2.異音・異臭・表示灯のチェック作業ができること。 3.機台の停止作業ができること。</p> <p>②段取・仕掛作業 次に掲げる巻糸機の段取・仕掛作業ができること。 1.管糸・ポビンの準備作業ができること。 2.管糸の仕掛作業ができること。</p> <p>③口付・巻付作業 次に掲げる巻糸機の間付・巻付作業ができること。 1.ポビンの準備作業ができること。 2.口付・巻付作業ができること。</p> <p>④継ぎ・給糸作業 次に掲げる巻糸機の継ぎ・給糸作業ができること。 1.管糸の準備作業ができること。 2.糸継ぎ・給糸作業ができること。 3.放出管糸の処理作業ができること。</p> <p>⑤機台の見回り作業 次に掲げる巻糸機の機台の見回り作業ができること。</p>	<p>実技試験</p> <p>次に掲げる科目(工程)のうち受験者が選択するいずれか一つの科目(工程)</p> <p>1 前紡工程</p> <p>①継ぎ・交換作業 次に掲げる前紡機の繊維束の継ぎ・交換作業ができること。 1.差別化品の繊維束の継ぎ・交換作業ができること。(再用綿処理含む)</p> <p>②パッケージ交換作業 次に掲げる前紡機のパッケージ交換作業ができること。 1.パッケージ交換作業ができること。(収容量調整パッケージ交換作業含む)</p> <p>③供給作業 次に掲げる前紡機への繊維束の供給作業ができること。 1.繊維束の供給作業(2機種)</p> <p>④始動・停止作業 次に掲げる前紡機の始動・停止作業ができること。 1.機台の始動作業ができること。 2.接触・異音・表示灯のチェック作業ができること。 3.機台の停止作業ができること。</p> <p>⑤点検作業 次に掲げる前紡機の点検作業ができること。 1.作動状態点検・処置作業ができること。</p> <p>⑥試験・測定作業 次に掲げる前紡機の試験・測定作業ができること。 1.繊維束の量目測定作業ができること。</p> <p>⑦トラブル処理判断 次に掲げる前紡機のトラブル処理判断ができること。 1.トラブル処理ができること。(指導法は含まない)</p> <p>⑧異常時の処理判断 次に掲げる前紡機の異常時の処理判断ができること。 1.危険予知および対策樹立ができること。</p> <p>2 精紡工程</p> <p>①始動・停止作業 次に掲げる精紡機の始動・停止作業ができること。 1.機台の始動作業ができること。 2.異音・異臭・表示灯のチェック作業ができること。 3.機台の停止作業ができること。</p> <p>②段取・仕掛作業 次に掲げる精紡機の段取・仕掛作業ができること。 1.篠巻の準備・仕掛作業ができること。 2.品種切替(トラベラー交換)作業ができること。</p> <p>③口付・巻付作業 次に掲げる精紡機の間付・巻付作業ができること。 1.篠巻とポビンの準備作業ができること。 2.口付・巻付作業ができること。 3.玉揚作業ができること。(単作業から複数作業へ) 4.運転状態下での巻付作業ができること。</p> <p>④継ぎ・給糸作業 次に掲げる精紡機の継ぎ・給糸作業ができること。 1.粗糸継ぎ・給糸作業ができること。 2.糸継ぎ・給糸作業ができること。 3.特殊糸の糸継ぎ・給糸作業ができること。 4.消耗部品交換作業(ローラー交換)ができること。</p> <p>⑤機台の見回り作業 次に掲げる精紡機の見回り作業ができること。 1.運転状況の確認作業(全般)ができること。 2.異常時の処理作業ができること。 3.異常箇所の紡出継続判断、処置、フィードバックができること。</p> <p>⑥試験・測定作業 次に掲げる精紡機の試験・測定作業ができること。 1.糸の量目測定作業ができること。</p> <p>⑦トラブル処理判断 次に掲げる精紡機のトラブル処理判断ができること。 1.トラブル処理ができること。(指導法は含まない)</p> <p>⑧異常時の処理判断 次に掲げる精紡機の異常時の処理判断ができること。 1.危険予知および対策樹立ができること。</p> <p>3 巻糸工程</p> <p>①始動・停止作業 次に掲げる巻糸機の始動・停止作業ができること。 1.機台の始動作業ができること。 2.異音・異臭・表示灯のチェック作業ができること。 3.機台の停止作業ができること。</p> <p>②段取・仕掛作業 次に掲げる巻糸機の段取・仕掛作業ができること。 1.管糸・ポビンの準備作業ができること。 2.管糸の仕掛作業ができること。 3.品種切替作業ができること。</p> <p>③口付・巻付作業 次に掲げる巻糸機の間付・巻付作業ができること。 1.ポビンの準備作業ができること。 2.口付・巻付作業ができること。 3.玉揚作業ができること。</p> <p>④継ぎ・給糸作業 次に掲げる巻糸機の継ぎ・給糸作業ができること。 1.管糸の準備作業ができること。 2.糸継ぎ・給糸作業ができること。 3.放出管糸の処理作業ができること。 4.CBF給糸作業ができること。</p> <p>⑤検査作業 次に掲げる巻糸機のパッケージ検査作業ができること。 1.パッケージ検査作業と異常時のフィードバックができること。</p> <p>⑥機台の見回り作業 次に掲げる巻糸機の機台の見回り作業ができること。</p>
--	---	--

<p>1.巻糸機の運転状況の確認ができること。</p> <p>④異常時の処理判断 次に掲げる巻糸機の異常時の処理判断ができること。 1.危険箇所の把握ができること。</p> <p>4 合ねん糸工程作業</p> <p>①始動・停止作業 次に掲げる合ねん糸機の始動・停止作業ができること。 1.合ねん糸機の始動ができること。 2.合ねん糸機の異音・異臭・表示灯のチェックができること。 3.合ねん糸機の停止ができること。</p> <p>②給糸作業 次に掲げる合ねん糸機の給糸作業ができること。 1.パッケージ・ポビンの準備ができること。 2.パッケージの給糸ができること。</p> <p>③巻付作業 次に掲げる合ねん糸機の巻付作業ができること。 1.ポビンへの巻付ができること。</p> <p>④機台の見回り作業 次に掲げる合ねん糸機の機台の見回り作業ができること。 1.合ねん糸機の運転状況の確認ができること。</p> <p>⑤異常時の処理判断 次に掲げる合ねん糸機の異常時の処理判断ができること。 1.危険箇所の把握ができること。</p>	<p>1.運転状況の確認作業ができること。 2.異常時の処理作業(指定箇所)ができること。</p> <p>⑥異常時の処理判断 次に掲げる巻糸機の異常時の処理判断ができること。 1.トラブル処理ができること。(指導法は含まない) 2.危険予知ができること。</p> <p>4 合ねん糸工程</p> <p>①口付・巻付作業 次に掲げる合ねん糸機の口付・巻付作業ができること。 1.パッケージの準備作業ができること。 2.口付・巻付作業ができること。</p> <p>②継ぎ・給糸作業 次に掲げる合ねん糸機の継ぎ・給糸作業ができること。 1.パッケージの準備作業ができること。 2.糸継ぎ・給糸作業ができること。 3.空パッケージの処理作業ができること。</p> <p>③玉揚・運搬作業 次に掲げる合ねん糸機のパッケージの玉揚・運搬作業ができること。 1.満パッケージと空パッケージの準備作業ができること。 2.玉揚作業ができること。 3.パッケージ運搬作業ができること。</p> <p>④機台の見回り作業 次に掲げる合ねん糸機の機台の見回り作業ができること。 1.運転状況の確認作業 ができること。 2.異常時の処理作業(指定箇所)ができること。</p> <p>⑤異常時の処理判断 次に掲げる合ねん糸機の異常時の処理判断ができること。 1.トラブル処理ができること。(指導法は含まない) 2.危険予知ができること。</p>	<p>1.運転状況の確認作業ができること。 2.異常時の処理作業(全般)ができること。 3.多品種操業での異常箇所の紡出継続判断、処置、フィードバックができること。</p> <p>⑦トラブル処理判断 次に掲げる巻糸機のトラブル処理判断ができること。 1.トラブル処理ができること。(指導法は含まない)</p> <p>⑧異常時の処理判断 次に掲げる精紡機の異常時の処理判断ができること。 1.危険予知および対策樹立ができること。</p> <p>4 合ねん糸工程</p> <p>①口付・巻付作業 次に掲げる合ねん糸機の口付・巻付作業ができること。 1.パッケージの準備作業ができること。 2.口付・巻付作業ができること。</p> <p>②継ぎ・給糸作業 次に掲げる合ねん糸機のパッケージの継ぎ・給糸ができること。 1.パッケージの準備作業ができること。 2.糸継ぎ・給糸作業ができること。 3.空パッケージの処理作業ができること。 4.口付・巻付・継ぎ・給糸の一連連続作業ができること。</p> <p>③玉揚・運搬作業 次に掲げる合ねん糸機のパッケージの玉揚・運搬作業ができること。 1.満パッケージと空パッケージの準備作業 2.玉揚作業 3.パッケージ運搬作業 4.不良合ねん糸摘出作業</p> <p>④検査作業 次に掲げる合ねん糸機のパッケージ検査作業ができること。 1.パッケージ形状検査と異常時のフィードバック作業 ができること。</p> <p>⑤機台の見回り作業 次に掲げる合ねん糸機の機台の見回り作業ができること。 1.運転状況の確認作業ができること。 2.異常時の処理作業(全般)ができること。 3.異常箇所の紡出継続判断、処置、フィードバック ができること。</p> <p>⑥トラブル処理判断 次に掲げる合ねん糸機のトラブル処理判断ができること。 1.トラブル処理ができること。(指導法は含まない)</p> <p>⑦異常時の処理判断 次に掲げる合ねん糸機の異常時の処理判断ができること。 1.危険予知および対策樹立ができること。</p>
---	--	--